



鹿児島大学 (鹿児島県)

九州の南端で<日本>を学ぶ・<日本>を研究する基礎作りをしませんか！

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 特色と歴史

鹿児島大学は九州最南端に位置し、9学部、9研究科を有する国立の総合大学です。鹿児島大学が新制国立大学として発足したのは1949年です。はじめは文理、教育、農、水産の4学部からスタートしましたが、その後、医学部、工学部、歯学部、共同獣医学部、各種大学院等を整備して今日に至っています。

文系学部は法学部と教育学部があり、さまざまな分野の教員が在籍しています。教員の専門分野については、本学のHPを参考にしてください。

鹿児島へ
ようこそ！



2) 教員・学生数等

学部生(留学生)	8,598名 (161名)
大学院生(留学生)	1,574名 (207名)
教員	1,193名
職員	2,753名

② 国際交流の実績

現在、学部生8,598名のうち留学生161名、大学院生1,574名のうち留学生207名が在籍しています。鹿児島大学は32の国や地域の86機関と大学間国際学術交流協定を結び、2024年には82名の交換留学生を受け入れました。

過去5年間の日本語・日本文化研修留学生の出身国と専攻分野は以下の通りです。

出身…タイ、インドネシア、ブラジル、韓国、中国、ウクライナ、トルコ、キルギス、ロシアなど。
専攻分野…日本語学、日本史、日本文学、政治学、経済学、社会言語学、日本文化論など。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2024年：留学生数368人、日研生8人
2023年：留学生数368人、日研生4人
2022年：留学生数294人、日研生7人

④ 地域の特徴

鹿児島県は日本列島の南端に位置し、世界遺産の屋久島や奄美大島、活火山である桜島など、美しい自然があります。歴史的には16世紀のフランシスコ・ザビエルの来航、また幕末には英国に留学生を送るなど、海外との交流は古くから続いています。

大学がある鹿児島市は人口約60万人の県庁所在地で、ナポリ市(イタリア)やパース市(オーストラリア)、マイアミ市(アメリカ)と姉妹都市盟約を、長沙市(中国)とは友好都市を、ストラスブール市(フランス)とはパートナーシップ協定を締結しています。

気候も温暖で、年間を通して過ごしやすく、生活環境、勉学環境も整っており、快適な留学生活を送ることができます。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

(b) 主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

次のような研修留学生を募集します。

- (a) 日本語能力(聞く・話す・読む・書く)をさらに伸ばしたい人。
- (b) 日本文化や日本文学、日本社会、異文化コミュニケーションを中心に総合的に学びたい人。
- (c) 鹿児島地域の文化、歴史に興味を持ち、研究テーマとして発展させたいと考えている人。

鹿児島大学では留学生の日本語能力に応じたきめ細かい指導を行っています。

また、鹿児島地域の歴史・地理・文化を学んだり、地域の人との交流活動を行い、深く日本や鹿児島を理解できるプログラムを提供しています。

③ 受入定員

8名(大使館推薦3名、大学推薦5名)

④ 受講希望者の資格、条件等

次の(a)及び(b)の条件を満たしている人が、このコースを受講できます。

- (a) 外国の大学に1年以上在籍し、日本語または日本の文化、文学、社会等に関する分野を主として学習している者。
- (b) 日本語能力試験のN3以上に合格または同等の能力を有する者。

⑤ 達成目標

日本語能力試験で、来日時より 1つ上のレベルの合格を目標とします。また、日本語によるポスター発表、修了レポートの作成も達成目標としています。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2025年9月下旬～2026年8月下旬
（在籍期間：2025年10月1日～2026年8月31日）

⑦ 奨学金支給期間

2025年10月～2026年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

（記載例）

9月下旬：渡日

10月：秋期オリエンテーション、授業開始

11月：大学祭

2月：授業終了

4月：春期オリエンテーション、授業開始

8月：授業終了、ポスター発表

修了式（2024年は8月9日に実施）

8月下旬：帰国（2024年は8月25～30日）

⑨ コースの修了要件

規定の単位を取得し、日本語ポスター発表及び修了レポートを提出することが条件です。コース修了時には修了証を発行するとともに、受講した科目については成績証明書を発行します。

〈日本語能力向上コース〉

科目群	科目数	単位・時間
日本語科目	11科目以上	18単位 330時間以上
文化科目		
自由選択科目		
参加型科目	1科目	—
修了レポート発表	2科目	6単位 180時間
コース修了に必要な単位数		24単位 510時間

〈日本語・日本文化研究コース〉

科目群	科目数	単取得単位数
日本語科目	6科目	10単位 300時間
文化科目	2科目	4単位 60時間
自由選択科目	2科目以上	2単位以上 60時間以上
参加型科目	1科目	—
修了レポート発表	2科目	6単位 180時間
コース修了に必要な単位数		20単位

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

授業は原則として、秋期・春期各15週間開講します。留学生は、それぞれの日本語力、留学目的に合わせて〈日本能力向上コース〉と〈日本語・日本文化研究コース〉のどちらかを受講します。コースの選択は、プレースメントテストの結果をもとに、グローバルセンターの教員と相談して決めます。

2) 研修・コース開設科目

A) 必須科目・内容

〈日本語能力向上コース〉

日本語力に応じてグローバルセンターの日本語科目や文化の科目を中心に受講します。

日本語学修科目

会話：場面や相手に応じた会話のスタイルを学ぶ。

読解：読解に必要な技術を学ぶほか、要約、発表資料作成などを行う。

作文：レポート、論文作成の基礎を学ぶ。また先生や目上の人に送るような、やや改まったメールの書き方を学ぶ。

文化学修科目

日本社会と文化：日本の社会や文化について基礎的な知識を学ぶ。

修了レポート、ポスター発表

- ・各自、テーマにそった修了レポートを作成。
- ・修了時に、指導教員や日本人学生を招いてポスター発表を行う。

〈日本語・日本文化研究コース〉

グローバルセンターの日本語科目の他に学部の特設科目、共通教育の文化学修科目を受講します。日本語学修科目

総合日本語：口頭発表の構成、構造を学ぶ。また、発表資料を作成する。
作文：論文レポートの書き方を学ぶ。

文化学修科目

日本事情：日本社会の諸相について学び議論する。

修了レポート、ポスター発表

- ・各自、テーマにそった修了レポートを作成。
- ・修了時に、日本人学生や職員、地域の人を招いてポスター発表（下記写真を参照）を行う。



B) 選択科目・内容

〈日本語能力向上コース〉

〈日本語・日本文化研究コース〉共通

演習：指導教員のゼミに参加する。

法文学部、教育学部、共通教育センターで開講されている科目の中から選択して受講する。

科目例：アジア歴史・文化研究

日本近現代文学研究・近代文学購読

多文化交流論・国語学特講

社会言語学

3) 研修科目で、地域の見学や地域交流等に参加できる科目及びその具体的な内容

地域行事への参加 (単位なし)

小学校訪問や地域の国際交流行事に参加して、自国の紹介などを行います。

4) 日本人学生との共修がある科目・内容

日本人学生と留学生の共修科目

- ・ Intercultural Communication for Global Citizens :
現代社会のさまざまな課題について議論する。
- ・ Confronting Kagoshima Regional Issues :
異なる文化的背景を持った外国人留学生と日本の学生が、現在鹿児島が抱える問題を多面的に考察し、調査し、発表する。

上記の科目以外でも、共通教育科目ではアクティブラーニングを推奨しています。授業の中で日本人学生とディスカッションをしたり、プロジェクトワークを行ったりします。アクティブラーニングが授業に占める割合は、シラバスに記載されていますので、事前に確認することができます。

⑪ 指導体制

氏名職名)	所属	専門
和田 礼子 (教授)	グローバルセンター	日本語教育 日本語文法
中島 祥子 (教授)	法学部	日本語教育 異文化理解教育
梅崎 光 (准教授)	教育学部	日本語学 日本語の歴史
上谷 順三郎 (教授)	教育学部	国語科教育 近現代文学
市島 祐起子 (講師)	グローバルセンター	日本語教育 社会言語学

研修留学生の専門分野に応じて、教育学部または法学部の教員の中から指導教員を1名定め、学習・研究上のアドバイスを行っています。生活面の指導については、グローバルセンターと連携しながら行います。

■宿 舎

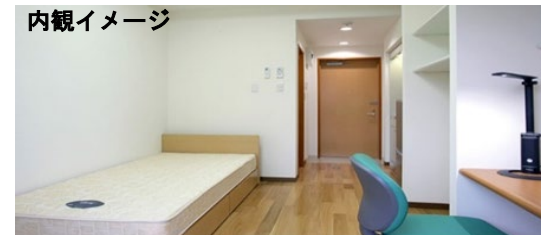
- ・ 鹿児島大学国際交流会館
(郡元キャンパスまで徒歩15分)
単身室 25,000円/月
※光熱水費、インターネット接続料金が、別途必要です。
※部屋の割り当ては本学が行います。
※敷地内は禁煙です。
- ・ 過去3年間の日研生の入居状況

年度	人数	宿舎入居
2024	8	国際交流会館へ入居
2023	4	国際交流会館へ入居
2022	7	国際交流会館へ入居

外観イメージ



内観イメージ



■修了生へのフォローアップ

日研生が帰国した後も、プログラム実施委員が必要に応じてメールで連絡を取っています。

【修了生の進路(例)】

- ・ 日本や母国の大学院へ進学
- ・ 日本に再来日して就職
- ・ 母国で日本関連企業に就職

■問合せ先

<担当部署>

鹿児島大学学生部国際事業課

住所：〒890-0065

鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21番30号

TEL : +81-99-285-7325 (直通)

FAX : +81-99-285-7083

Email : ryugaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

<ウェブサイト>

鹿児島大学グローバルセンター

<https://gic.kagoshima-u.ac.jp/>

鹿児島大学

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/>

